

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場取引所 名

上場会社名 名古屋木材株式会社
 コード番号 7903 URL <http://www.meimoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 丹羽 耕太郎
 (氏名) 式守 正光

TEL 052-321-1526

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,341	8.3	20	—	41	—	△1	—
28年3月期第2四半期	2,162	△9.0	△10	—	△7	—	51	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △5百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 48百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△4.35	—
28年3月期第2四半期	141.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
29年3月期第2四半期	6,222	—	1,906	—	30.6	5,235.80
28年3月期	6,104	—	1,922	—	31.5	5,279.90

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,906百万円 28年3月期 1,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	—	—	30.00	30.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,812	5.2	48	—	60	532.8	12	△84.8	32.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	400,000 株	28年3月期	400,000 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	35,803 株	28年3月期	35,793 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	364,197 株	28年3月期2Q	364,207 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)における日本の経済情勢は、急激な円高への進行と海外の政情不安等の影響による景気の先行き不透明感を懸念する状況で推移いたしました。

住宅市場におきましては、国による住宅取得促進の各種施策やマイナス金利導入による住宅ローン金利の低水準が続き住宅取得を考える消費者の追い風となったことと相続税対策としての貸家需要が好調であったことにより、新設住宅着工戸数は堅調に推移いたしました。当第2四半期連結累計期間における東海三県の新規住宅着工戸数においては、総着工戸数は前年度比7.4%の増加、持家着工戸数においては11.9%の増加となり、堅調な回復が感じられる状況となっております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、新規顧客及びハウスメーカーへの販路拡大を進めると共に、地域型住宅グリーン化事業に取り組み地元工務店等取引先との関係強化に努めてまいりました。その結果、売上高及び経常利益は当初見込みを超える結果となりました。

以上の結果から、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は2,341百万円(前年同期比178百万円増、8.3%増)となりました。利益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は20百万円(前年同期は10百万円の営業損失)、経常利益は41百万円(前年同期は7百万円の経常損失)となりましたが、不動産の有効活用のため木材コンビニA' zen館中川の一部建物等固定資産の減損損失45百万円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は1百万円(前年同期は51百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末(平成28年9月30日現在)の当社グループの財政状態は、売上債権が前連結会計年度末に比較して8百万円の増加となりました。

また、たな卸資産は前連結会計年度末に比較して65百万円増加し、仕入債務は前連結会計年度末に比較して51百万円増加となりました。

有形固定資産は木材コンビニA' zen館中川の一部建物等を減損処理したこと等により前連結会計年度末に比較して35百万円の減少となりました。

投資有価証券につきましては、株式市況が一時期に比較して落ち着いたことから、前連結会計年度末に比較して4百万円の減少となりました。

借入金残高は前連結会計年度末に比較して74百万円増加し、これらを統合して現金及び預金の合計は、前連結会計年度末に比較して92百万円増加しております。

以上の結果から、自己資本比率は前連結会計年度末に比較して0.9ポイント減少の30.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、昨今の景況及び業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に発表した予想を修正しております。詳細につきましては、平成28年11月7日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	541,439	634,271
受取手形及び売掛金	876,512	884,915
商品及び製品	548,277	540,706
仕掛品	417,920	491,346
その他	46,211	42,672
貸倒引当金	△1,150	△400
流動資産合計	2,429,211	2,593,512
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,577,929	2,577,929
その他(純額)	486,018	450,440
有形固定資産合計	3,063,947	3,028,369
無形固定資産	10,160	13,458
投資その他の資産		
投資有価証券	487,882	483,830
その他	148,160	138,402
貸倒引当金	△35,361	△35,111
投資その他の資産合計	600,681	587,121
固定資産合計	3,674,789	3,628,948
資産合計	6,104,000	6,222,461
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	898,708	950,379
短期借入金	750,000	982,000
1年内返済予定の長期借入金	759,720	757,984
未払法人税等	2,844	2,020
賞与引当金	15,550	16,000
その他	89,697	95,066
流動負債合計	2,516,520	2,803,450
固定負債		
長期借入金	891,160	735,656
繰延税金負債	473,763	473,167
退職給付に係る負債	111,340	108,902
受入保証金	128,806	133,806
その他	59,432	60,617
固定負債合計	1,664,502	1,512,149
負債合計	4,181,022	4,315,600

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	6,567	6,567
利益剰余金	1,664,079	1,651,568
自己株式	△107,743	△107,760
株主資本合計	1,762,903	1,750,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160,074	156,485
その他の包括利益累計額合計	160,074	156,485
純資産合計	1,922,977	1,906,860
負債純資産合計	6,104,000	6,222,461

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,162,372	2,341,288
売上原価	1,804,851	1,944,177
売上総利益	357,520	397,111
販売費及び一般管理費	368,017	376,728
営業利益又は営業損失(△)	△10,496	20,382
営業外収益		
受取利息	13	5
受取配当金	11,262	9,514
仕入割引	6,726	7,030
受取保険金	336	16,737
その他	2,336	4,050
営業外収益合計	20,674	37,337
営業外費用		
支払利息	12,902	11,381
売上割引	5,045	4,809
その他	14	—
営業外費用合計	17,961	16,191
経常利益又は経常損失(△)	△7,783	41,528
特別利益		
厚生年金基金代行返上益	2,332	—
特別利益合計	2,332	—
特別損失		
固定資産処分損	30	142
減損損失	—	45,434
特別損失合計	30	45,576
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,481	△4,047
法人税、住民税及び事業税	688	822
法人税等調整額	△57,731	△3,285
法人税等合計	△57,042	△2,463
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,561	△1,584
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	51,561	△1,584

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,561	△1,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,653	△3,589
その他の包括利益合計	△2,653	△3,589
四半期包括利益	48,908	△5,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,908	△5,173
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,481	△4,047
減価償却費	24,307	23,015
減損損失	—	45,434
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,426	△2,438
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	450
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,750	△1,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7,150	—
受取利息及び受取配当金	△11,275	△9,519
支払利息	12,902	11,381
固定資産処分損益(△は益)	30	142
売上債権の増減額(△は増加)	32,386	△8,402
たな卸資産の増減額(△は増加)	△255,040	△65,855
仕入債務の増減額(△は減少)	△34,848	51,671
預り保証金の増減額(△は減少)	64	5,000
その他	9,574	21,012
小計	△235,853	66,844
利息及び配当金の受取額	10,924	9,147
利息の支払額	△13,064	△11,312
法人税等の支払額	△25,887	△1,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	△263,881	63,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,993	△11,640
投資有価証券の取得による支出	△659	△660
無形固定資産の取得による支出	—	△4,580
その他	165	△7,952
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,486	△24,833
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	185,000	232,000
長期借入れによる収入	460,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△404,560	△407,240
自己株式の取得による支出	—	△17
配当金の支払額	△10,883	△10,736
その他	△8,047	△9,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	221,508	54,369
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△83,859	92,831
現金及び現金同等物の期首残高	467,469	541,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	383,610	634,271

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	営業本部	市場本部	不動産事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,993,147	48,449	120,774	2,162,372
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,448	2	—	5,450
計	1,998,596	48,452	120,774	2,167,823
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△62,009	△27,260	89,539	269

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	269
セグメント間取引消去	833
全社費用(注)	△8,887
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△7,783

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	営業本部	市場本部	不動産事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,134,514	62,764	144,009	2,341,288
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,781	10,306	—	23,088
計	2,147,296	73,071	144,009	2,364,376
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△42,714	△41,650	126,430	42,064

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	42,064
セグメント間取引消去	706
全社費用（注）	△1,242
四半期連結損益計算書の経常利益	41,528

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。